

国内物産贈答品の訴求力を高める 桐箱そっくりな桐箱風紙箱の生産

Market ～市場環境～

～ 「ならの木」500年以上、受け継がれてきた情熱と誇り ～

奈良県の木材・木製品製造業は吉野杉を背景に500年以上前から発達しており、全国有数の優良木材の生産地としても知られている。県の面積の77%を森林が占めており、恵まれた自然環境を生かして古くから林業が営まれ、代々受け継いできた育成方法によって優れた木々が育まれてきた。

Products

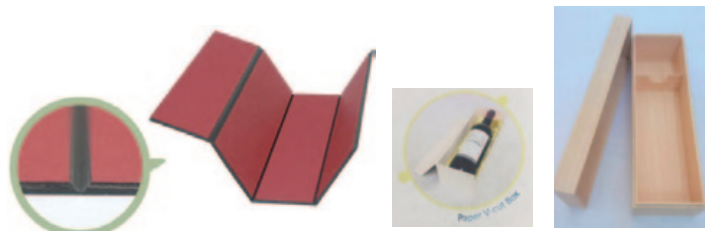
～取扱商品～

伝統に裏付けされた奈良の木材加工ノウハウを活かした製品づくり 有限会社岩谷容器

当社は、木製品である贈答用木箱の製造と紙製Vカット容器の製造を行っている。また、新たな試みとして、奈良県中小企業団体中央会支援の元、酒蔵メーカーとのビジネスマッチングを行い、日本酒・ワイン用の桐箱風紙箱の展開を開始。更に桐箱においても、高級桐箱の販路拡大を行い、新たな需要を喚起している。

【紙製Vカットボックス】

加工の際にV字型の切り込みを入れて作成。開閉時に感じる独特の感触がVカットボックスの趣きとなる。



【桐箱】

自社専用工場にて、高品質な桐箱を製造している。



BackGround

～事業化にいたる経緯・背景～

【桐の価格上昇による、桐箱風紙箱のユーザー要望】

桐箱の原料である桐価格が約1.2倍に上昇しているため、当社ユーザーから比較的安価な紙素材で、見た目は桐箱のような紙箱を作れないかとの要望があった。

【リサイクル可能で、エコロジーに貢献】

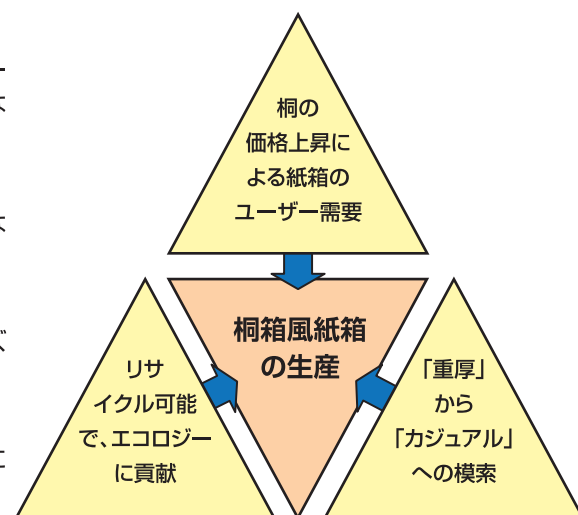
ゴミ分別する際、木箱はリサイクルできないため、リサイクル可能な紙の贈答用の箱の企画を考えていた。

【「重厚」から「カジュアル」への模索】

「桐箱＝重厚なギフト」という固定概念にとらわれない新たなニーズである「カジュアルと高級感のコラボレーション」を模索していた。

【桐箱風紙箱の生産の為に仕組み作り】

ユーザーの需要・環境への対応、新たな高級路線への挑戦を可能にするため、桐箱風紙箱の生産に取り組んだ。



■代表者 代表取締役 岩谷 伊久男

弊社は、創業以来贈答品に使用されます容器をつくり続けています。時代の変化と共に贈答に対する意識や容器に対する要望も変化しています。その中で社会・環境に貢献できるものづくりを目指し、お客様に喜んで頂ける商品とは何かを絶えず問いかけながら、より良い製品をお客様目線で創り続けるよう日々精進しています。

Contents

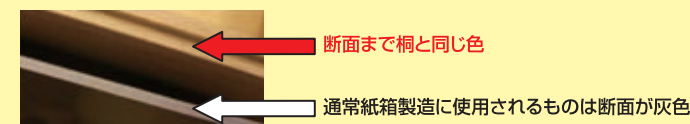
～事業の概要・成果～

- 見た目・質感・強度ともに桐箱そっくりの紙箱の製造が可能になった
- 自社での一貫生産により、生産能力向上とコスト削減にも目処がたった

桐箱風紙箱を作成するにあたり、桐箱とそっくりな品位の実現

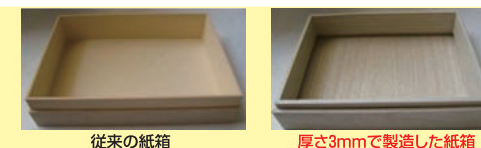
【紙の断面まで桐と同じ色にする】

工程＝三つ折りにして(＝くるむ)、プレスする
施策＝プレス成型機の導入
結果＝断面まで桐と同じ色にすることができた



【箱の厚みが桐箱と同程度の厚みにする】

工程＝四角形に折る為、Vカットで折目(3mm)を付ける
施策＝横Vカット機の導入
結果＝厚さ3mm紙にして桐の質感を持たせることができた



【箱の蓋面、底面共にフラットでシャープな質感と桐のような強度にする】

工程＝三つ折りにしてプレス
施策＝プレス成型機の導入
結果＝蓋面/底面で段差のないフラットでシャープな質感を持ち、桐同様の強度ができた



見た目、質感、強度ともに桐箱そっくりの紙箱の製造が可能になったと共に、セミオーダーによる生産能力向上とコスト削減の目処がたち、少量生産の対応力も構築できた。

Task

～事業化における課題～

課題① 為替変動による価格変動の低減

為替変動で、桐が安くなり桐箱と桐箱風紙箱との価格差が少なくなった為、優位性であった価格での営業が困難となり、商品の販売拡充ができなくなっている。

課題② 導入機器運用における問題点

機械化できない工程は、人手を介するしかなく、そこで生産効率が落ちてしまう。

Solution

～解決への道筋～

施策① 新手法による営業活動へ

価格ではなく、紙ならではの付加価値を深掘りし、桐箱ではできないデザインや、使い方等新たな販売方法、販売経路を模索している。

施策② 徹底した機械化

各工程間にも機器を導入することで、極力人手を省き、コストを抑えると共に生産効率を上げている。

Future

～今後の事業スケジュール～

- 商社を通じての新規顧客開拓のほか、カジュアルギフト品をテーマとする展示会に積極的に足を運び、将来的な新規顧客開拓を行うと共に、ユーザーニーズの把握を行い更なる売上拡大を図る。
- 既存薫香メーカー向け製品 5年目250万目標、ワイン販売業者向け製品 5年目1,050万目標
- ギフト商品販売業者向け製品 5年目150万目標、酒蔵メーカー向け製品 5年目1,000万目標

有限会社 岩谷容器

■設立 平成8年11月1日

■事業内容 紙製Vカットボックスおよび桐箱の製造販売

■本社所在地 奈良県桜井市大字山田2022

■URL <http://iwataniyouki.com>

■資本金 300万円

■従業員数 7名

■TEL 0744-42-9037

■E-MAIL info@iwataniyouki.com

有限会社
岩谷容器